

行政相談委員を紹介します

4月1日付けで高橋ミナ子さんが総務大臣から行政相談委員を委嘱されました。行政相談委員は、行政サービスに関する困りごとや、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなど、皆さんの声を行政運営改善に役立てる仕事を行っています。



高橋 ミナ子さん

■行政相談日程 (予定) 総合政策課 (内線 2311)

日付	場所	日付	場所
6月27日(木)	街地区生涯教育センター	11月14日(木)	北部地区生涯教育センター
7月18日(木)	三ヶ尻地区生涯教育センター	12月19日(木)	中央生涯教育センター
8月22日(木)	南方地区生涯教育センター	1月17日(金)	街地区生涯教育センター
9月26日(木)	永岡地区生涯教育センター	2月18日(火)	南方地区生涯教育センター
10月17日(木)	西部地区生涯教育センター	3月10日(火)	三ヶ尻地区生涯教育センター

▶時間 いずれも午前10時～正午

金ヶ崎町民劇場脚本決定!

第11回金ヶ崎町民劇場の脚本は「でんでら国～ワシらは捨てられたのではない。ここで生き直すのだ～」に決定しました。今年には町内在住の作家、平谷美樹さん原作の「でんでら国」を基に、チーム*アスタリスク6人(町民大学2018シナリオ講座受講生)が共同で脚本を制作しました。町民劇場の公演は10月6日(日)です。

現在、キャスト(役者)をはじめ、舞台に欠かせない音楽や照明など一緒に劇を盛り上げてくれるスタッフを募集中です。興味のある人はお気軽にご参加ください。



【問い合わせ先】
中央生涯教育センター ☎44-3123

令和の時代はどんな時代になると思いますか？
それぞれ話し合いながら考えてみましょう!

	昭和	平成	令和
▶家族	例 大家族	例 核家族	例 大家族?
▶教育			例 1人暮らし?
▶産業			例 共同生活?
▶福祉			
▶仕事			
▶趣味			
▶自治会			
▶???			



広報かねがさき 11月号
で地域の状況を紹介

変わる、地域づくり Vol.1
問い合わせ先
地域づくり推進室
(☎44・3123)

時代の变化から考える地域づくり

昨年11月号の広報かねがさきでは、「過渡期を迎えた地域づくり」という特集を組み、地域で発生している暮らしの変化について取り上げました。「金ヶ崎町地域づくりのあり方検討会最終報告書」から、その内容の一部を取り上げたものでしたが、多くの反響がありました。

今年度は、人口減少や少子化・高齢化による暮らしの変化や、勤務形態や価値観の多様化など、地域や個人ごとに大切にしたい価値観や地域との関係性の変化を具体的に取り上げて、一人一人が考えるきっかけを作りたいと思います。昭和から平成、令和へと変わりゆく中、時代とともに変えていくもの、変わらないものについて、より多くの人、より多くの世代で話し合いをしながら、考えていきたいと思います。

交番だより

☎金ヶ崎交番
(☎44・5227)
永岡駐在所
(☎44・3310)

鍵かけ運動の推進 ～鍵かけキャッチフレーズ「おにっこ」～

■現状
岩手県は、家に入られて物を盗まれるなどの泥棒被害のうち、鍵をかけないで被害に遭う割合が高いという特徴があります。平成30年中は、空き巣など住宅を対象とした侵入窃盗被害のうち、鍵をかけたいなかった割合が72.3割(全国平均48.2割)と依然として高い状況でした。

■重大事件に発展するおそれ
泥棒と鉢合わせになると、殺人や強盗などの凶悪事件に発展するおそれがあります。出かけるときは当然ですが、家にいるときでも、就寝前に戸締りを確認し、鍵をかけましょう。

■鍵かけはみんなができる防犯対策です
安全で安心して暮らせる岩手県を実現させるためには、県民一人一人が防犯意識を高めることが大切です。そのためには、子どものころから鍵かけを習慣づけることが重要

鍵かけキャッチフレーズ「おにっこ」

- お おきな安心
- に 個のかぎかけできたかな?
- っ いうっかりはいけません
- こ どもも大人もみんなで広めよう



ふるさとへの風だより



在京金ヶ崎人会
金ヶ崎ふるさと大使
菊井 孔明さん
東京都在住、西根出身

感謝と願い

金ヶ崎のふるさと大使、菊井孔明です。私は金ヶ崎の4号線沿いにごさいます。そば処「盛紹屋」の次男で、現在は東京中野区で「盛紹屋東京店」を営んで8年目を迎えています。金ヶ崎の皆さまに育てていただいた盛紹屋を東京で経営することはいろいろなこと、出会いがあり、成長を実感できる充実した日々です。これも、母、兄、妹、祖父母、そして盛紹屋を金ヶ崎の一員として迎えてくださった町民の皆さまのおかげです。家族と金ヶ崎の皆さまに感謝を込めて。

ケ崎の皆さまに感謝しながら生きられるということがどんなに幸せなことか、書きようありません。本当にありがとうございます。私はこの盛紹屋と共に成長していきたい、いつか家族と皆さまに恩返しをすることを目標に、毎日蕎麦を打っています。それがいつになるか、どんな形になるかわかりませんが、今願うことは、愛する故郷金ヶ崎の皆さまが、四季を感じ、日々感動し、健康で平和な毎日を送っていることです。そして我々盛紹屋が「食」を通じて、皆さまの幸せな人生の一助となることができれば、これほどの喜びはありません。

春も終わりが近づき、東京が先に、後から岩手にも夏がやってきますね。幸福を感じられることを積極的に取り入れて夏を楽しんでください。我々も金ヶ崎と世界の人々に幸福な時間を提供すべく、これからも精進を続けて参ります。東京より感謝を込めて。

在京金ヶ崎人会へのお問い合わせやご連絡は左記へ
▼連絡事務所(金澤志年) ☎FAX 044・711-2310
e-mail skshoukai@gmail.com

首都圏在住の金ヶ崎出身者やゆかりのある方の入会を歓迎いたします。